

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成29年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	秋川橋河川公園	指定管理者	一般社団法人あきる野市観光協会
指定期間	平成29年4月1日から 平成32年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開園日数 (日)	308	292	94.8%	
	延べ利用者数 (人)	60,400	57,700	95.5%	
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—%	
		利用料金収入 (円)	48,000,000	45,597,700	95.0%
		自主事業収入 (円)	—	—	—%
		その他の収入 (円)	12,000,000	12,140,827	101.2%
	収入計 (円)		60,000,000	57,738,527	96.2%
	支出	人件費 (円)	18,000,000	18,679,364	103.8%
		維持管理経費 (円)	4,500,000	3,263,555	72.5%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—%
		その他の支出 (円)	18,000,000	15,996,476	88.9%
	支出計 (円)		40,500,000	37,939,395	93.7%
収支 (収入－支出) (円)		19,500,000	19,799,132		

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開園日数・利用者数について】 開園日数は、昨年度より多かったが、利用者は昨年度比で2,700人減少した。台風の影響により臨時休業があった。	【事業の実施状況について】 計画に基づき事業を実施した。	【収支状況について】 収支計画の見直し等を行い、ほぼ計画通りに推移したが、トイレドア工事等の突発的な支出もあり、維持管理経費を大幅に削減できなかったが、収支状況の安定に努めた。
--	--	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 台風の影響により臨時休業となったが、安全管理上致し方ないとする。	【事業の実施状況について】 計画に基づき、適切に事業を実施しており、評価できる。	【収支状況について】 収支状況は安定しており、計画に基づいた適切な施設運営を行っている。
--	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	実地	適正・要改善	適正・要改善

施設・設備の維持管理	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	実地	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	人員配置計画、実地	適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	1回/年 研修マニュアル	実施回数1回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>前年度に対して売上・利用者数が減少した。要因としては、10月に雨天日が多かったことと10月及び11月の台風に伴う河川増水による臨時休業などがあり、更に、土・日の天候不順が影響したと考えている。また、下半期においては、気温の低い日が多く、昨年と比べて売上・利用者数ともに大きく落ち込んだ。</p> <p>学校等へのパンフレットの発送や情報誌への情報提供、TV撮影への協力などを活用し、宣伝活動を行った結果、昨年度より多い（3校増）学校関連団体の利用があった。</p> <p>事故防止対策として、看板以外にも受付時にチラシの配付とグループの代表者に注意喚起するとともに、見回りや危険行為としての無謀な飲酒に対して注意を行った。今後も利用者が安心して利用することができる周知活動及び施設運営を行っていく。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>下半期の利用者数が伸び悩んだものの、収支状況が安定していることや誘客活動が実績に結びついていくことは評価できる。秋川溪谷の主要な観光施設の一つとしてPR活動を行うことを期待する。今後も環境保全に努めながら、近隣住民へも配慮を行いながら利用者のマナー改善や安全確保について重点的に取り組むことを期待する。</p>